

一般社団法人日本頭痛学会

2021 年度新理事選挙

現職立候補者名簿

# 2021 年度 新理事選出選挙立候補者名簿

(五十音順)

No.	氏 名	所 属	抱 負
1	浅野 賀雄	埼玉精神神経センター脳神経内科 埼玉国際頭痛センター	私は日本頭痛学会の理事を拝命し、総務委員会委員長のほか各種委員会の委員としても努力してまいりました。また、積極的に多職種のメディカルスタッフと連携したチーム医療に取り組み、地域医療における頭痛診療の中核的な医療機関として、慢性化した難治頭痛患者の診療に当たるほか、教育機関や一般市民への啓発活動にも力を注いでいます。引き続き日本頭痛学会の発展とわが国の頭痛医療レベル向上に貢献できるよう努力してまいります。
2	五十嵐久佳	富士通クリニック 内科（頭痛外来）	私はこれまで日本頭痛学会理事として、ガイドライン委員会、国際頭痛分類委員会、診療向上委員会、広報委員会、専門医委員会、編集委員会の委員を務めてまいりました。2022年には第50回日本頭痛学会総会会長を務めさせていただきます。一次性頭痛の管理は健康経営の視点からも重要な項目の一つであり、今後も一般市民やプライマリ・ケア医、企業における産業医・保健師への啓発に努め、頭痛医療の普及を計るよう努力する所存です。
3	今井 昇	静岡赤十字病院 神経内科	第49回日本頭痛学会総会を開催した経験を活かし、日本頭痛学会の発展と、頭痛診療の均霑化に尽力致します。具体的には、広報委員会委員長として学会ホームページを会員の先生方だけではなく非専門の先生や一般の方への情報発信を充実させ、今まで行ってきた地域医療連携を発展させ、後進の指導や患者教育を継続して行い、共同研究を含め現在行っている臨床研究の成果を本学会並びに国際頭痛学会等で発表していきます。
4	喜多村孝幸	五反田リハビリテーション病院	私は第30回、第38回日本頭痛学会総会の副会長、また第40回総会の会長として、頭痛の先端的な研究および臨床研究の発展に努力してきました。また私は2003年から現在まで当学会理事を務め、現在学会の喜多村賞選考委員長、財務副委員長、編集委員、ガイドライン委員も兼務しています。今後も主に脳神経外科医に対して、頭痛の研究・診療に興味を持って貰うことに尽力し、学会の発展に寄与したいと思います。
5	古和 久典	独立行政法人国立病院機構松江医療センター副院長・脳神経内科	小生は、総務委員会副委員長、専門医試験小委員会委員長、ガイドライン、教育関連、編集、国際頭痛分類、HMSJ組織の各委員として、学会活動のさらなる活性化に努めます。HMSJ2021web Spring Semesterの実行委員長を務め、今後も理事として地方における日本頭痛学会の会員数を増やし、頭痛患者さんに必要な治療を届けられるよう頭痛診療の均霑化やさらなる向上、発展に取り組んでいく所存です。

No.	氏名	所属	抱負
6	鈴木 則宏	湘南慶育病院 脳神経内科	次期理事任期において、頭痛専門医制度の更なるシステム化、頭痛専門医広告認可への機構に対する積極的活動、若い医師への頭痛診療に対する積極的参加を促し頭痛専門医数を増加させること、そして社会保険制度における頭痛診療の地位向上への努力を大きな目標として当学会を押し進めていく所存です。また、頭痛診療の一般化に向けて本学会の社会への貢献や社会活動を促進していきたいと思っております。
7	鈴木 倫保	山口大学医学部先進 温度神経生物学講座	私はこれまで頭痛の診療・研究に取り組んで参りました。2014年には、第42回総会会長を拝命し、一次性・二次性頭痛の基礎から最先端の治療やトピックスまで幅広く学べるよう企画し、約千名の参加者数で成功裏に終わることができました。今後も頭痛の研究・診療を更に発展させ、脳神経外科医が遭遇する外傷後頭痛についても知見を深める所存です。引き続き理事として皆様のご厚情を頂戴できれば幸甚です。
8	竹島多賀夫	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内 科・頭痛センター	日本頭痛学会の副代表理事、診療向上委員長、専門医委員長、国際頭痛分類委員長、頭痛診療ガイドライン副委員長を拝命し、学会の活性化と、頭痛医療の向上に努めてまいりました。2017年には大阪で頭痛学会総会を開催させていただきました。頭痛の診療ガイドライン2021の改訂にも参画しました。引き続きわが国の頭痛医療の発展に努力する所存です。ご支援をよろしくお願い致します。
9	寺山 靖夫	医療法人社団健育会 湘南慶育病院	我が国の頭痛診療の均てん化と頭痛研究のレベル向上に努力しております。教育関連委員会委員長および国際関係委員長としてHeadache Master School Japan(HMSJ)を開催し、頭痛専門医の育成、更なる頭痛診療の向上を図るとともに、頭痛センター構想の実現に取り組んでおります。今後も地域のみならず、日本全体の診療レベルを向上させるとともに、本学会を世界的レベルに高めるために尽力いたします。
10	永田栄一郎	東海大学医学部内科 学系脳神経内科	大学卒業後より頭痛メカニズム解明、診療向上を目指し励んでおります。日本頭痛学会では、専門医、指導医、理事、代議員であり、選挙管理委員長、編集委員長および各種委員会委員（専門医委員、教育関連委員、ガイドライン委員、国際頭痛分類委員など）を務めさせて頂いており、日本神経学会では頭痛セクション・コアメンバーをさせて頂いております。今後国際的にも日本頭痛学会を発展させるために努力いたしたいと思います。
11	端詰 勝敬	東邦大学医学部 心身医学講座	ここまで利益相反委員長として、新たに日本頭痛学会の指針を作成し、役員等の利益相反の申請書を提示できました。今後、医学会の流れに沿って適宜修正をおこなう所存です。また、診療向上委員会内に、「難治性片頭痛の認知行動療法マニュアル作成」のためのワーキンググループを立ち上げ、マニュアルを完成させる一方、保険収載に向けた働きかけを継続させていきたいと考えています。

No.	氏名	所属	抱負
12	橋本洋一郎	熊本市民病院 主席診療部長 脳神経内科科長	数多くの一次性頭痛診療とともに髄膜炎、脳静脈血栓症、脳脊髄液漏出症などの多くの二次性頭痛の診療も30年以上にわたって急性期病院で行っています。難治性の一次性頭痛も含めて受け入れることができる包括的頭痛センターを中心とした頭痛診療ネットワークが各地にできるようにと願っています。頭痛全般に関する診療・教育・研究・社会の啓発を行い、日本の頭痛診療の向上、日本頭痛学会の発展に寄与していきたいと思っています。
13	平田 幸一	獨協医科大学 頭痛センター	小職は代表理事として本学会の活動を行ってきました。第37回日本頭痛学会総会の開催をはじめとして、頭痛医療と頭痛教育の推進、さらにはJPACという患者様との組織作りにも参画してまいりました。頭痛研究についても幅広く行い新知見を発表してきました。これらの背景と経験を生かし、日本頭痛学会会員皆さまのご支援を賜りながら、これからの日本頭痛学会の発展のために最大限の努力をしてゆくつもりであります。
14	松村 明	茨城県立医療大学	2008年に茨城県頭痛研究会を立ち上げ、頭痛診療の普及、頭痛専門医育成、頭痛に関する市民公開講座に取り組んできました。日本頭痛学会では理事として、これまでに編集委員会や専門医委員会、喜多村賞選考委員を努めました。2020年に第48回日本頭痛学会（つくば）を主催し、頭痛研究、診療、普及活動などを取り上げました。CGRP関連薬の登場で変革期が訪れていますが、今後とも頭痛で苦しむ患者さんのお役に立ちたいと思います。
15	山元 敏正	埼玉医科大学 脳神経内科	現在、当教室ではとくに頭痛診療に力を注いでおり、頭痛専門外来で難治性片頭痛、薬剤の使用過多や脳脊髄液減少症など多数の頭痛患者を診療しています。また埼玉県を中心に頭痛に関する講演会を医師会などと協力して多数開催し、頭痛の啓発活動を積極的に行っております。今後も理事として日本の頭痛診療や日本頭痛学会の発展に向けて、さらに尽力する所存です。
16	山脇 健盛	広島通信病院 内科	私は、日本頭痛学会理事、代議員、用語委員長、専門医委員、編集委員として、日本頭痛学会の活動、発展に努めてまいりました。また、頭痛専門医の少ない広島において、プライマリケア医を中心に頭痛診療の啓発にも努めてきました。まだまだ「たかが頭痛」と言われることが多い中で、学会と協力してひとりでも多くの頭痛患者さんが救われるような体制づくりを目指したく、引き続いて理事に立候補させていただきました。